

上高祭特集



島口重一さんに教育委員会功労者表彰

6月18日

教育委員を3期、合計12年(うち教育委員長を10年)務められた島口重一さんに、全国市町村教育委員会連合会より、功労者表彰が贈られました。伝達式において、島口さんは「事務局など、みなさんの支えがあったから務め上げることができた」と話されていました。



お食事処「和み」オープン

6月16日

町内3の1区に、お食事処「和み」(宮内栄店長)がオープンしました。どなたでも気軽に入れるアットホームな雰囲気とリーズナブルなお値段が魅力です。おすすめは、しょうが焼きとソースカツ丼。みなさんぜひ食べてみてください。

ミニバス少年団、32年ぶりに十勝地区制覇。全道大会へ!

ミニバスケットボールの第35回北海道夏季交歓大会十勝地区予選会を、32年ぶりに制覇したミニバスケットボール少年団が、8月1日から行われる全道大会への出場報告のため、教育委員会を訪れ、大会での健闘を誓いました。

6・7月の まちのわだい



「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。
企画財政課情報交流担当 ☎2-2111 内線265 または E-Mail ☞ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

6月22日

平成26年度上士幌消防団消防演習



北十勝消防事務組合上士幌消防団の今年度消防演習が、航空公園駐車で行われました。

これは、消防技術の向上と士気高揚を図り、消防活動の充実強化に寄与することを目的に、毎年実施されている活動です。

演習では、片寄繁之团长をはじめとする団員約40名が参加し、小隊訓練やポンプ車操法、一斉放水などを行い、日頃の訓練の成果を披露しました。

6月24日

走って、跳んで、投げて

上士幌小学校のグラウンドにて、町内小学生による陸上競技大会が行われました。

この日は、徒競走(100m、400mなど)・走り幅跳び・走り高跳び・ボール投げが行われ、各競技で夏の日差しにも負けないほどの熱戦が繰り広げられました。

児童たちは、学校対抗の意識からか、自分の学校の仲間が登場すると、みな一生懸命に声援を送っていました。また、トラックの外では、所属する学校の枠を越えて、児童たちが仲良く交流する様子が見られました。



6月24日

上高1年濱口さん、卓球の全道大会へ

第69回国民体育大会卓球競技北海道予選会への出場が決まった上士幌高校1年の濱口悠花さんが、馬場教育長のもとを訪れ、大会への意気込みを語りました。



馬場教育長から「良い成績を残せるよう頑張ってください」と激励を受けると、濱口さんは「自分ひとりではここまで来られなかったもので、今まで協力してくれた人に感謝して頑張りたい。目標は、1回戦突破。2、3回戦までいけたらと思っています」と力強く応えてくれました。

(全道大会に出場する濱口さんは写真中央左。中央右が馬場教育長。右は渋川誠人校長、左は加藤真教諭)

6月30日

地域の安全に尽力、鈴木弘さんに表彰状



長年にわたり犯罪抑止など地域の安全活動に尽力され、地域の安全・安心なまちづくりに貢献した鈴木弘さんに、北海道警察釧路方面本部および釧路方面防犯協会連合会より、表彰状が贈られました。

7月2日

「ふるさと納税」特産品提供業者研修会



ふるさと納税制度へ感謝特典を提供している生産者を対象に、町とNPO法人上士幌コンシェルジュとの共催で、研修会を開催しました。

まず、町から今年4月から6月までの寄付状況と今年度の予測を説明しました。また、寄付金増加に伴い、特典発送数の増加が予測されることから、生産者に守ってほしい点と製造過程における細菌検査などの継続的な衛生検査実施をお願いしました。

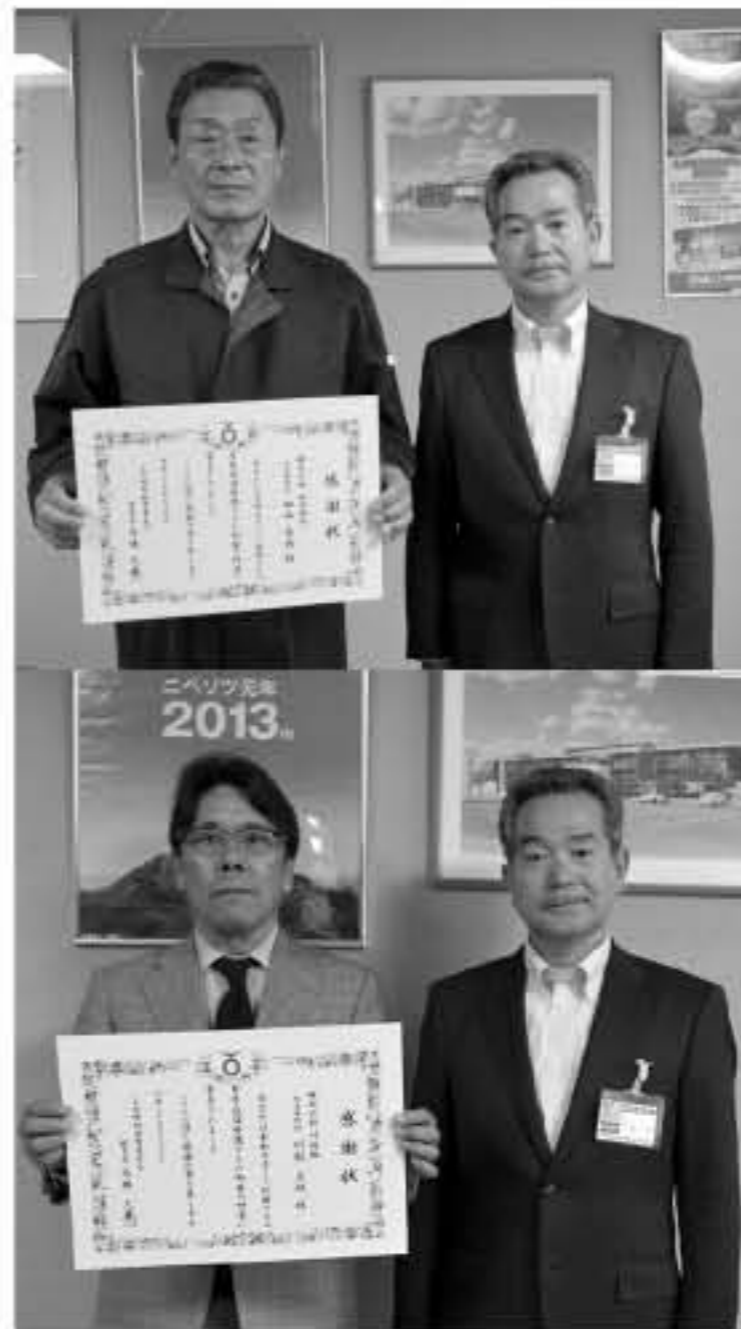
その後、北海道立十勝圏地域食品加工技術センターから講師をお招きし、「夏期における食品衛生管理とその対策」についての講演をいただきました。

今後同様の研修会を開催することにより、安全・安心な特典提供を行っていきたいと考えております。

7月4日

建設会社2社に教育委員会より感謝状

教育委員会は、町内のスケートリンクの氷割り作業を実施した株式会社田西建設（田西長徳社長）および株式会社川村組（川村文雄社長）に感謝状を贈呈しました。



7月5日

元日本代表選手らからバスケの技術学ぶ

株式会社川村組主催による上士幌小学校開校100周年記念事業「JX-ENEOSサンフラワーズ・札幌大学バスケットボール部スポーツクリニック」が開催されました。

第1部では、西岡第一病院から理学療法士の平野充さんを招き、上小体育館にて「スポーツにおける傷害処置、予防についてのトレーニング実技」が行われ、小学生29名が参加しました。

平野さんは、「基本的な動きや正しい姿勢で運動を行わないと疲労やストレッチ不足などと重なり、傷害が起こりやすい。また、正しい姿勢は、パフォーマンスを向上させる」と指導されました。

第2部は、スポーツセンターに場所を移し、JX-ENEOSのOGによるバスケットボールクリニックが行われました。コーチは、元日本代表の大山妙子さん、同じく田中利佳さん、現役引退後管理栄養士としても活躍する小池清美さんの3名。また、札幌大学バスケットボール部（シニア）の方々にもお手伝いをしていただきました。中学生10名、小学生27名が参加し、ドリブルやシュートを指導していただきました。

参加者の上士幌中学校女子バスケットボール部キャプテン山下結さん（2年）は、「試合に活かせるように頑張りたい」と、今後の意気込みを話されました。



7月6日

第30回オツパイ山祭り

東泉園にて、第30回オツパイ山祭りが開かれました。オツパイ山祭りは、三股の西クマネシリ岳とピリベツ岳（2つ合わせて、通称オツパイ山）が「民族発祥の地」とみなされていることに由来するもので、東泉園の「聖地ウタリの森」において、自然の神々に祈りをささげる儀式「カムイノミ」が執り行われました。

カムイノミとは、「神（カムイ）への祈り」を意味し、狩猟や人生の節々など生活のさまざまな場面で執り行われていたとされ、この日はシカやクマ、干物や煮物などの供物をささげました。



会場には約80名の方が集まり、古式舞踊や狩猟体験を楽しんだほか、アイヌ儀式料理の試食がありました。

7月6日

第26回オツパイ山サイクリング大会

第26回オツパイ山サイクリング大会が、ぬかびら源泉郷から三股地区（往復50キロ）で行われ、60名が参加しました。

今大会は、第29回十勝サイクリング大会も兼ねており、8歳小学生から85歳、滝川市や深川市など、十勝管外からも参加がありました。

この日は天候も良く、道中「頑張ってください」と声をかけると、競技者からは「バテたあ〜」と言いながらも、すがすがしい表情が見られました。



7月10日

平成26年度平和追悼献花式



高台公園の平和の塔前にて、平成26年度平和追悼献花式が開かれました。式には竹中町長をはじめ、ご遺族の方など約40名が出席し、異国の地で没した22柱の英霊のご冥福をお祈りするとともに、黙とうと献花が行われました。

7月10日

中学生が生命の大切さ学ぶ



上士幌中学校で、「命のバトン」今、自分にできること」と題した講演会が開催されました。

3名が犠牲となった平成11年の親子研修バス事故を教訓に制定された「生命を大切にしようの日」にあわせて実施されたもので、音更町で民生委員をされている佐々木祥子さんが、生命の尊さについて語られました。

講演で佐々木さんは、自身のご家族、特に次女の周りで起きたできごとを中心に話され、生命をつないでいくことの難しさ、大切さを生徒たちに訴えました。

また、「現在、思春期でいろいろと悩みごとやつらいことがあると思いますが、目標や夢を持ち、その実現のため、今できる小さなことから始めてほしい」と生徒たちにアドバイスを送られていました。

7月10日

町制60周年を記念し、札幌コンサート



一般財団法人北海道公立学校教職員互助会や町芸術鑑賞会などの主催による札幌交響楽団のコンサートが、スポーツセンターにて行われました。

本公演は、町制施行60周年を記念したもので、わが町で札幌が演奏を行うのは33年ぶりとのこと。

「天国と地獄」(オッフェンバック作曲)や「ウエスト・サイド物語」(バーンスタイン作曲)など、クラシック初心者でも親しみやすい楽曲構成で、多くの観客を魅了しました。

7月13日

ぬかびらでウォーキングツアー開催中

現在、ぬかびら源泉郷にて、ウォーキングツアー(全5コース、計7回。10月18日まで)が開催されています。

6月29日(日)のぬかびら源泉郷スキー場ノルディックウォーキング(写真上)では、参加者がまず幌鹿峠を登り、頂上付近でコーヒーや軽食を楽しんだ後、帰りの下りはスキー場のグレンデを降りてきました。

参加者からは「糠平湖を見下ろす眺めが最高!」と大満足の声がかげられました。

7月13日(日)には、東大雪の道廃線跡ウォーキング(写真下)が行われ、参加者25名が、ひがし大雪自然館からタウシュベツ展望台まで(三の沢、五の沢経由)を往復しました。

展望台に到着すると、参加者は「タウシュベツ橋梁の美しい眺めが見られて良かった。頑張つて歩いてきた甲斐がありました」と話してくれました。



【町内企業2社に危険物安全表彰】

長年にわたり、上士幌町危険物安全協会会長を務められた功績をたたえ、佐藤忠彦さん(株式会社サトウ機工)に感謝状が贈られました。

また、危険物取扱いに関する無事故・無違反の功績が認められ、上士幌タクシー有限会社に「北海道危険物安全協会連合会会長表彰」が贈られました。

地域を変えてく新しい力

地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 充実した日常生活へ

記: 社会教育推進員 内田裕太



こんにちは。暑い日が続いていますが、みなさん元気にお過ごしですか？私も社会教育推進員として3年目を迎え、少年教育や高齢者教育に携わらせていただいています。

今回は、私が担当しておりますシルバー学級についての活動報告をしたいと思います。シルバー学級生は、5月から翌年3月までの各月最終金曜日を基本に活動を行っており、現在79名の学級生が研修や交流を楽しんで活動をしています。

毎月開かれる例会では、多種多様な趣味を持った方や知識の豊富な方、いろいろな団体において活動をされている方、交流を楽しんでいる方など、本当に個性豊かな方々と一緒に勉強させていただいています。

シルバー学級の学習計画は、3月の最終活動時に学級生同士で「今年度のふりかえりと次年度の学習活動の話し合い」が行われています。そこで出た意見をもとに、シルバー学級運営委員の方々と一緒に次年度の計画を立てたのが、平成26年度(今年度)の学習計画です。

今年度もいろいろな気づきや発見が得られる学習活動になっています。みなさんも充実した日常生活を送るために、シルバー学級で活動を行ってみませんか？



▲今年度シルバー学級「開級式」の様子



▲「6月例会 町内視察(鉄板焼きレストラン tobachi)」の様子

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲今回大活躍した佐藤選手

6月29日(日)から、帯広の森野球場にて、夏の高校野球十勝支部予選が始まりました。本校は、30日(月)に池田高校と対戦し、2対6と惜しくも敗北という結果に終わりました。

P T A会長の森岡さんは「今年が初めての応援なので新鮮な気持ちで試合を見ていたが、みながよいプレーをしていた。守備でファインプレーを連発した佐藤君が大活躍していた。応援も上士幌高校は人数が多く盛り上がり、選手たちもこの応援に助けられていたと思う。今回は惜しかったが、

今後は勝利する瞬間を見られるのを楽しみにしているので、頑張ってください」と、野球部へエールを送っていただきました。

馬場教育長からは「ツーアウトになろうがランナーを出しチャンスに変えることができるような攻撃力を身につけるために、これからはもっと攻撃の強化に力を入れ、早い球にもついていけるようになってほしい」と、野球部へアドバイスをいただきました。

6月30日(月)

応援を背に奮闘！高校野球支部予選！

文責 古市 和摩

川柳

短歌

空に舞う気球はまるで虹のよう
アンパンマンと飛んでいきたいせかいじゅう
力作の絵手紙好きな人へ出し
平等を不平と語るヤジロベエ
何ひとつ成し遂げられず日は過ぎる
庭に咲く香りで癒すラベンダー
集団的自衛に軍靴の音がする
乳牛も宅配便の餌を食べ
生命を武力で守るといふ美談

わが町の音楽ホールは体育館雨の今宵にシンフォニー響く
曇り日の元に開かる運動会老人施設に手伝ふと来し
折りおりに見舞い下さる友なりて分らぬながら笑み握手の夫
障害の身施設の夫を見守りぬ言なく心ひがみゆくなり
曇り日のくもり深まる午後の樹々みどり濃くしてひそまりたるも
住まひ借りしことすらみんな識るといふせまき街に住み古りおどろく

白坂 桜 齊 丹 柰 米 高 米
石田 藤 後 大 森 木 森
い 花 敦 昭 喜 博 誠 真
さ 子 繪 子 次 子 樹 也 弓
馨

本 高 石
間 木 川
栞 慶 裕
風 子 子

平成26年 6 月末現在の人口

男 2,409人(-3)
女 2,531人(-5)

人 □ 4,940人(-8)
世帯数 2,342世帯(+2)

寄 付

▶ 3の1区の鈴木弘さんは、6月30日に町営浴場用として、ドライヤー2台を寄付されました。

平成26年度 ふるさと納税寄付金

6 3,231 件
月分 56,180,701 円

累計 6,588 件
112,662,201 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。



夏になり、各地でスポーツイベントや部活動の大会が行われています。老若男女問わず、一生懸命スポーツにうち込む姿を見ると、こちらもテンションが上がり、取材にも力が入ります。私もそんなみなさんを見習い、今年こそは運動不足を解消できるよう頑張りたいと思います。・・・S

いよいよ、8月はバルーンフェスティバルが開催されます。息子もアンパンマンショーを楽しみにしています。あの丸い顔が小さな子どもたちを魅了するのだと、何かで聞いたことがあります。だからといって、僕が丸いのはそういった理由ではありません。さて、私ごとですが、本号は私が広報作成に携わって、100号目になりました。・・・K